様式１

重点研究申請書

年　月　日提出

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究代表者氏名 |   | 所属系・職 |   |
| 応募区分(どちらかに〇) | 1. （B）
 |
| 審査区分(自然科学系所員はどちらかに〇) | 理工系　　　　　　　　　農系 |
| 研究課題名（40字以内） |  |
| 研究経費（千円未満の端数は切捨てる） | 年度 | 研究経費（千円） | 使用内訳（千円） |
| 設備備品費 | 消耗品費 | 兼務職員人件費 | 旅費交通費 | その他 |
| 国内 | 海外 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 総計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 　研究組織（研究代表者及び研究分担者） |
| 氏　　名 | 所属学科（系）・職 | 現在の専門 | 学　位 | 役 　割 　分 　担 |
| 研究代表者 |  |  |  |  |
| 研究分担者（原則として技研所員） |  |  |  |  |

（単位：千円）

|  |  |
| --- | --- |
| 設備備品費の明細 | 消耗品費の明細 |
| 年度 | 品　　　名　・　　仕　　　様(製造会社名・型)(数量×単価)（設置場所） | 金　額 | 品　　　　　　名 | 金　額 |
|  |  |  |  |  |
| 年度 | 兼務職員人件費 | 旅費交通費 | その他 |
| 国内 | 海外 |
| 事　　項 | 金　額 | 事　　項 | 金　額 | 事　　項 | 金　額 | 事　　項金　額事　項 | 金　額 |
|  | 研究補助 |  | 調査・研究旅費 |  | 調査・研究旅費 |  | 修繕費業務委託費郵便費運搬費印刷製本費支払手数料 |  |

**１　研究目的・研究方法など**

本欄には、本研究の目的と方法などについて、４頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。この研究分担者は、原則として技研所員とするが、必要に応じて客員研究所員、社研または人文研所員を研究分担者に加えることができる。特定の研究事項につき、学外の研究者及び技術者を、研究協力者として依頼することができるが、申請書に、依頼する事項、所属機関及び氏名を記載し、運営委員会の承認を得るものとする。

**（概要）**

**（本文）**

***※留意事項：***

1. ***本文全体は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。***
2. ***各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。***
3. ***指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。***
4. ***本留意事項（斜体の文章）は、研究計画調書の作成時には削除すること。***

**２　本研究の着想に至った経緯など**

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけについて１頁以内で

記述すること。

**３　応募者の研究遂行能力及び研究環境**

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境

（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について２頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

**４**　**人権の保護及び法令等の遵守への対応**

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする

研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、１頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、

ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・

研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。